配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和２年（2020年）2月6日

「つくろう、おもしゃい米沢」開催！

～ 学生企画の映画上映会・ワークショップイベント ～

【本件のポイント】

- 「山形大学と交流する会」の学生コーディネーター（AA）は、地域に暮らす様々な世代の皆様との交流を深めるため、新イベント「つくろう、おもしゃい米沢」を開催します。
- 「つくろう、おもしゃい米沢」は、AAの活動紹介、映画「おだやかな革命」の上映とワークショップの３部構成で開催します。
- 現在、参加者を募集しています（参加費無料）。参加希望の方は、応募フォームからお申込みください。

【概要】

「山形大学と交流する会」は、山形大学における研究の発展と人材の育成を支援するとともに、会員企業様と山形大学の職員及び学生との交流を推進することによって、地域の活性化等に寄与することを目的としています。「山形大学と交流する会」の学生コーディネーターは、学生 AA（アドミニストレイティブ・アシスタント）として山形大学の職員として活動しており、様々な活動を自ら企画・運営することで地域の活性化の一環を担っています。

今年の企画は、伝国の杜 置賜文化ホール（米沢市）で、地域に暮らす様々な世代の皆様との交流を深めることを目的に開催する「つくろう、おもしゃい米沢」です。

鶴岡市出身の渡辺智史監督のドキュメンタリー映画「おだやかな革命」の上映を通して、地域の方と学生が自分たちの住む地域を共に考えるイベントを企画しました。作品の中で映し出される人々は、地域に対する思いが暮らしを変える原動力となっています。「自分にとっての本当の豊かさは何かを考え、明日からの日々の暮らしの選択を変える」をテーマに皆で話し合いましょう！

【開催要項】

日　時：令和２年２月２４日（月・祝）１３時３０分開会　１７時００分終了予定
会　場：伝国の杜 置賜文化ホール　第２小会議室（山形県米沢市丸の内一丁目２番１号）
会　費：無料
定　員：３０名（定員になり次第、申込みを締切ります。）

◇スケジュール◇

１３：００　受付開始
１３：３０　開会・活動紹介
１３：５０　映画「おだやかな革命」上映
１５：４０　ワークショップ
１７：００　終了予定

↓参加申込みはこちらから↓

【申込方法】

下記の応募フォームからお申込みください。
URL：https://forms.gle/kzDbfXGdxM7BFgsT8
（申込受付の締切：２月２０日（木）１７時００分まで。ただし、定員になり次第、申込みを締切ります。）

【お問い合わせ】
山形大学　エンロールメント・マネジメント部　社会連携課　担当；五味・佐藤
TEL　：023-628-4844　　MAIL：yamagata.kouryuu@gmail.com

「地域貢献ってなんだ」
考え続けた４年間。
自分の力の小ささを思い知った。

まだ自分には大きな変化は
起こせない。

でも、スーパーで伝統野菜
を手に取るようになった。

つくろう、おもしゃい米沢

映画

Silent Revolution

おだやかな革命

～これからの暮らしを巡る物語～

入場無料

地域を考える
ワークショップ付き

2月24日13：30～

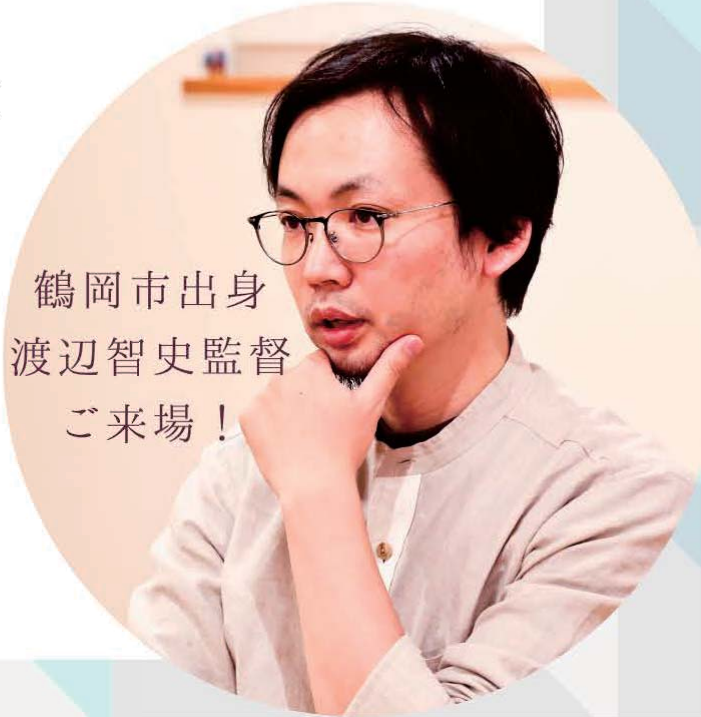
（13：00開場　17:00終了予定）

場所：伝国の杜　第２小会議室
（米沢市丸の内1丁目2番1号）

問合先：080-5847-3973(平)

主催：山形大学と交流する会

お申し込みは
Googleフォーム
もしくはお電話で



鶴岡市出身
渡辺智史監督
ご来場！

13：50～「おだやかな革命」上映

自分は、これで幸せかという問いが
ちゃんと真ん中にある
これは革命と言ってもいい。
でも、今まで多くの人が想像してきた
革命とは全然違うものなのではないか

――― 辻 信一（文化人類学者）

Story

原発事故後に福島県の酒蔵の当主が立ち上げた会津電力。放射能汚染によって居住制限区域となった飯館村で畜産農家が立ち上げた飯館電力。岐阜県郡上市の石徹白、集落の存続のために100世帯全戸が出資をした小水力発電。さらに首都圏の消費者と地方の農家、食品加工業者が連携して進めている秋田県にかほ市の市民風車。自主自立を目指し、森林資源を生かしたビジネスを立ち上げる岡山県西粟倉村の取り組み。都市生活者、地方への移住者、被災者、それぞれがエネルギー自治を目指すことで、お金やモノだけでない、生きがい、喜びに満ちた暮らしの風景が生まれている。成長・拡大を求め続けてきた現代社会が見失った、これからの時代の「豊かさ」を静かに問いかける物語。

秋田 Akita

日本海からの風が吹く、にかほ市にたつ大きな風車。生活クラブ生協が、この風車を起点にしたコミュニティづくりを続けている。地域にあたりまえに吹く風は、首都圏と地域の作り手を繋いでいった。

岡山 Okayama

地域の間伐材を使って若者が起業・移住する1500人の西粟倉村。見向きもされなかった森林は、地域の温泉施設の熱源に、美しい家具に、そして地域のつながりの中心に。

福島 Fukushima

福島県には、震災後に2つの電力会社が誕生した。立ち上げたのは、原発事故により全村避難になった飯館村の元畜産農家と、綺麗な水で有名な喜多方市の酒蔵の当主。故郷を次の世代に繋いでいくための、二人の決意、葛藤とは。

岐阜 Gifu

郡上市にある約100世帯の小さな集落、石徹白。伝統的な文化や暮らしを大切にする移住者を起点に、地域に残る農業用水路で小水力発電事業が立ち上がる。地域の価値に気付き始めた地元住民との、懐かしくて新しい未来づくりが始まっていく。

Introduction

自然と向き合い、人と向き合い、地域と向き合いながら、これからの暮らしを自らの手で作っていこうとする人たちがいる。そんな彼らの、穏やかな、そして力強い挑戦の姿を追ったのは、前作『よみがえりのレシピ』で、高度経済成長期に見捨てられてしまった伝統野菜のタネをめぐる物語を描いた渡辺智史監督。各地で始まる「暮らしの選択」、その先にある未来の風景を見据えながら、懐かしくも新しい時代への入口へと観客を誘う。

この映画には、静かに力強く、ふつふつと湧き上がってくる力があります。
その力はあまりにも美しく、切なく、愛に満ちていて、胸が締め付けられそうにもなります。
でも、そこに「光」を感じます。パンドラの箱に残った「希望」のように。

――― 鶴田真由（女優）

ナレーション：鶴田真由｜監督・編集：渡辺智史｜撮影：佐藤広一｜音楽：鈴木治行｜MA：中野坂上スタジオ｜協力：高橋真樹
2017年 / 日本 /100分 / カラー /DCP・Blu-ray｜配給・製作：いでは堂｜特別協賛：一般財団法人 ふくしま自然エネルギー基金
取材協力　会津電力、飯館電力、石徹白農業用水農業協同組合、生活クラブ生活協同組合、西粟倉・森の学校、村楽エナジー、枝廣淳子、辻信一、広井良典 ほか
《映画「おだやかな革命」公式HP》http://odayaka-kakumei.com　@odayakakakumei

15：40ごろ～
学生による 地域を考えるワークショップ

「自分にとっての本当の豊かさとは何か」を地域でみつけ、暮らしの選択を変えた人々を映した「おだやかな革命」。一人ひとりの選択がいつのまにか持続可能な地域への転換に繋がっているのかもしれません。画面の向こう側の物語で終えないために。映画を観た後、自分と自分の暮らす地域の繋がりをゆっくりと考えるワークショップです。